

第14回 小胞体ストレス研究会

開催日: 令和元年9月26日(木)~27日(金)

会場: 岡山大学50周年記念館2階(津島キャンパス)

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1

研究会会長

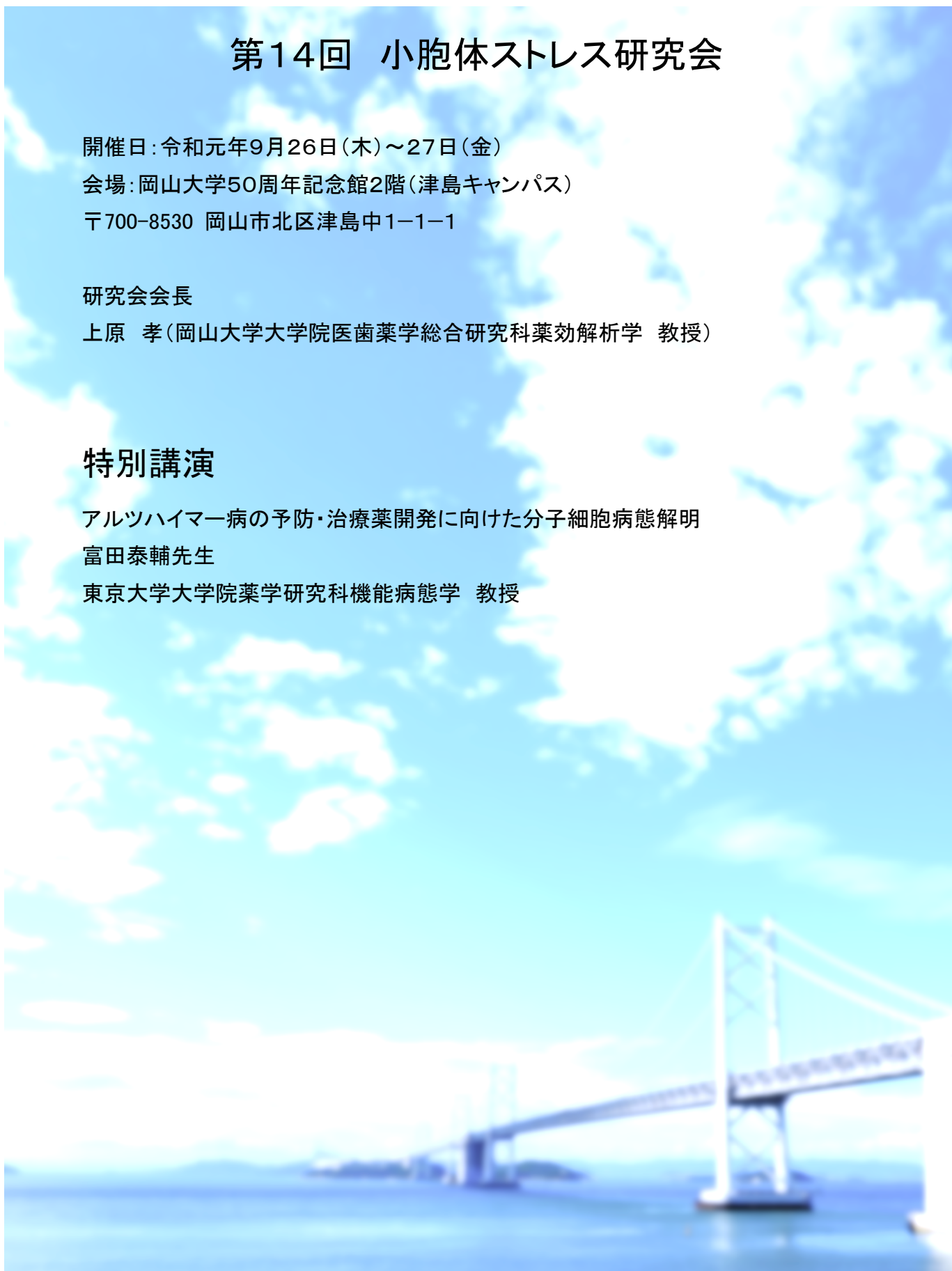
上原 孝(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬効解析学 教授)

特別講演

アルツハイマー病の予防・治療薬開発に向けた分子細胞病態解明

富田泰輔先生

東京大学大学院薬学研究科機能病態学 教授



<プログラム>

9月26日(木)

●開会の挨拶:大会長 上原 孝 教授 13:25-13:30

●セッション1 (座長:今泉 和則先生) 13:30-14:15

1. Ire1 の活性制御におけるリン脂質組成の寄与
木俣 行雄(奈良先端大)
2. ストレス応答としての小胞体レドックスシフト
潮田 亮(京都産業大)
3. 小胞体の予防的品質管理における新生タンパク質の翻訳制御
門脇 寿枝 (宮崎大)

●セッション2 (座長:工藤 喬先生) 14:20-15:05

4. ユビキチンリガーゼ RNF182 によるトランスポーターのライソゾームにおける分解選別機構 金子 雅幸 (広島大)
5. 小胞体ストレスセンサーPERK による炎症性メディエーター調節機構
谷内 秀輔 (徳島大)
6. PERK を介した褐色脂肪細胞の機能制御
加藤 裕紀 (宮崎大)

●セッション3 (座長:金子 雅幸先生) 15:20-16:05

7. 新規 PERK 経路下流因子(ncRNA)がリボソームに及ぼす影響について
山川 哲生(徳島大)
8. 小胞体膜分子 Derlin-1 の成体海馬ニューロン新生における役割
村尾 直哉(宮崎大)
9. グリア細胞の ATF6 α 経路を介した神経保護機構
宝田 美佳 (金沢大)

●特別講演（座長:上原 孝先生） 16:15-17:15

アルツハイマー病の予防・治療薬開発に向けた分子細胞病態解明
富田 泰輔教授(東京大)

●セッション4（座長:潮田 亮先生） 17:25-17:55

10. ERAD 遮断はムコ多糖症 II 型原因タンパク質変異型 IDS の機能を回復する
齋藤 敦(広島大)
11. 中枢神経における小胞体品質管理機構の破綻に起因する運動障害のメカニズム
杉山 崇史(宮崎大)

●情報交換会(岡山大学ピーチカフェテリア 4F レストラン) 18:10-20:00

#岡山駅西口行きバス時刻 岡大西門発 19:18, 19:40, 20:05(最終)

9月27日(金)

●セッション5（座長:親泊 政一先生） 9:30-10:15

12. ATF6beta protects hippocampal neurons against ER stress
Dinh Thi Nguyen(金沢大)
13. KSHV 感染 B 細胞性リンパ腫と小胞体ストレス
森口美里(京都薬科大)
14. 小胞体ジスルフィド異性化酵素のポリサルファー修飾とその役割
後川 帆南(岡山大)

●セッション6（座長:門脇 寿枝先生） 10:20-11:05

15. アルツハイマー病における小胞輸送障害機構の解明
金城 那香(岡山大)
16. IP3 受容体のレドックス依存的なチャネル活性制御機構の解明
藤井 唱平 (京都産業大)
17. 小胞体ストレスを軽減する新規化合物の膵β細胞への作用
三宅 雅人(徳島大)